

令和7年度都立府中工科高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	円滑なコミュニケーション	社会生活の中や他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や表現力を伸ばす。	社会に出ることを意識し、教員等大人との円滑な意思疎通に取り組む。
社会	社会的な見方・考え方の充実	・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認する。 ・資料を読み、論理的に考察する活動を重視した授業を実施する。	・現代の諸問題に関連させて考察する授業を実施する。 ・互いの考察を発表しあい、評価・改善したりしようとする態度を育成する授業を実施する。
数学	問題解決に数学的思考を取り入れる。	データを適切なグラフで表し、データを分析できるようにする。	工業科目における問題解決で、積極的に数学的思考が活用できることを目的とする。
理科	自然の事物等を科学的に探究する態度を養う。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。	科学的探究に必要な観察、実験の技術を身に付け、工業科目等での活用を目指す。
英語	英語でのコミュニケーション	情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることができる。	授業内や放課後等、ALTとJET等と英語でコミュニケーションにトライする。
工業 (機械)	「課題解決」につながるような実習の充実を図る。	各実習を横断的に繋ぎ、種々の課題発見力を伸長する。	環境問題や製品の再利用に着目し、探究する学習意欲の向上させる。
工業 (工業技術)	工業分野を幅広く学び実践する。	工業分野に関する幅広い事象を学び、自学自習する姿勢、課題解決能力の育成を行う。	進路実現のために自己管理と協働して作業する精神を育み、積極的に資格取得等へ挑む姿勢を醸成させる。
工業 (情報技術)	情報を取扱う必要性とその技術	データをどのように処理しているか、ハード、ソフト両面から考察出来る様にする。	座学だけでなく、実習等で取り組み、理論だけでなく実状を理解する。
工業 (電気)	工業の技術者としての、態度・知識・技術を育成する	授業や実習を通して、知識と実践を通じて、電気に関する興味関心を高める。	将来の進路実現に向けて、電気の資格を取得し、即戦力になる人材を目指す。